

「キレイを、長く!」のカーコーティング

# KeepPer® TIMES

「キーパータイムズ」 2016年4月号 vol.158

発行所/KeepPer技研株式会社 愛知県大府市吉川町4-17  
TEL.0562-45-5258 FAX.0562-45-5268

発行人/谷 好通

発行部数/20,000部

(札幌、仙台、新潟、東京、神奈川、名古屋、大阪、広島、福岡、鹿児島)

<http://www.sensya.com>

キーパー コーティング 検索 0120-517-158

無断コピー・複製を禁ず

## 技術を競い、高め合った2ヶ月間の最終決戦!!

### 第3回 2016年 キーパー技術コンテスト上位入賞者インタビュー



(株)東日本宇佐美 千葉茨城販売支店 16号市原東給油所 (千葉県)

矢部 正 選手 165.8点(競技得点/163.3点 タイム/43分03秒 時間順位加点/2.5点)

意識しているのは、いつも「品質」と「時間」。  
勝つことではなく、普段どおりの施工に集中!!

#### 普段どおりの施工を意識した

キーパー技術コンテストには3回目の出場です。全日本チャンピオン決定戦には初出場だったので、誰も注目しないだろうなって思っていました(笑)。

第1回のときは関東予選で優勝し、関東地区大会では6位でした。第2回は予選で敗退。第2回で予選敗退した理由は明確でした。第1回は普段の自分どおりの施工をしたのですが、第2回はコンテストで勝つことを強く意識してしまったからです。

今回も準決勝のときは、時間ばかりを意識

して、逆に手数が増えてしまい、7位となりました。「いつもどおりの施工をすれば、時間はついてくる」と意識を切り替え、決勝に臨みました。施工が終わった時、他の誰も終わってなかったので「これでよかったのかな」と不安になりましたが、何台も積み上げてきた普段の施工をしたという確信はあったので、フィニッシュしました。

#### 手数を減らすことに集中する

スピードを意識しているわけではありません。スピードよりもミスなく、手数を減らすことにとにかく集中しました。時間順位がトップだったのは、レジンの施工方法だと思えます。これまでレジンは得意じゃなかったのですが、今ではダイヤよりレジンの方が得意です。スポンジは押し付けず、力を抜くようにし

ます。そして1回目の拭きは軽く、2回目以降は手の平を使ってしっかりと隅から隅まで集中して拭き上げます。それによって拭き残しはほぼ残りません。マニュアルで基本の動きをしっかりとマスターした上で、自分なりに見つけた技術です。

#### スタッフ全体の技術レベルアップにつながる

会社全体でコーティングの技術力を高めようと、社内でも技術コンテストを行い、技術レベルは上がってきています。また技術コンテストの出場をすることで、スタッフ全体の技術力アップにつながると感じています。

チャンピオンの夢が叶ったので、来年は別のスタッフがチャンピオンを獲得できるように、技術を伝え、同じ会社で2連覇を目指します!

チャンピオンになれたのは1人の力ではありません。業務時間内に練習会に何度も出させてもらいました。KeepPer技研のトレセンを

借りたり、スタッフの方にも協力してもらい、コンテストに臨むことができました。それらの助けや支えがなければチャンピオンにはなれませんでした。本当に感謝しています。

僕がいつも意識しているのは「品質・時間・値段」です。「値段」の高い安いを決めるのはお客様なので、自分ではどうすることもできません。自分たちができる「品質」と「時間」を管理し、作り上げることで、良いサービスが実現すると思っています。



(有)イマージン  
キーパープロショップ岐阜店(岐阜県)  
大山 奈津美 選手

165.5点(競技得点/165.0点  
タイム/48分53秒 時間順位加点/0.5点)



技術コンテストに出場して、自分の施工のどこがダメかを確認し、改善しています

昨年のキーパー技術コンテストは3位でした。今回は準優勝。ステップアップできてよかったです!昨年は、緊張しまくりで無我夢中に施工していたので、今回は、いつも通りのマイペースで落ち着いて施工するように心がけました。いつも使っている脚立を持ってきました。本番前には、脚立の位置や手数のイメージを頭に入れました。このコンテストのために練習しているわけでもなく、前日におさらいするわけでもありません。

矢部選手のスピードには驚きました。それでいて拭き残しがない。うまくなるコツ、教えてほしいです!という私もよくうまくなるコツを聞かれるんですが、私自身よくわからないんです(笑)。日々、車と向き合っていると「この車はこんな感じに施工すれば無駄なくキレイになるな」というのが感覚的にわかるのかもしれない。こんな風に私は本当にゆるいんですよ。どっか抜けているので結果も準優勝だと思うんですよね...。来年、チャンピオンを狙うかどうかは、社

長と相談します(笑)。

コンテストのレベルは相当上がってきていると思いました。技術コンテストに参加したことによって、お店全体の技術レベルが上がったと思います。自分の施工のどこがダメなのかって自分ではわかりづらいですね。コンテストに出場し、他店の技術者の施工を見ることで、客観的に自分の施工のダメなところを確認することができます。それを改善することでレベルアップすることができます。そしてレベルアップした技術を他のスタッフと共有することで、お店全体の技術を底上げすることができると思います。



宮島石油販売(株)  
Dr.Drive竹尾インター店(新潟県)  
岩佐 徹 選手

165.5点\*(競技得点/164.0点  
タイム/46分32秒 時間順位加点/1.5点)



コンテストに入賞することで、お客様からの信頼感が高まり、提案力もアップ

今回は普段の施工と同時に、徹底的に無駄をなくすことを意識しました。技術コンテストで勝つための技術を身につけようというような上っ面な意識は勝てないです。コンテストで発揮できる能力は普段している施工の能力以上にはなりません。

普段の施工でも、きちんと時間を測るようにしています。基本的にはマニュアルを守ってしっかりと施工します。ボディに触れてない時間をいかに短縮するかもポイントです。例えば、レジンをスポンジに塗るときにずれる歩幅とか、ワゴンの位置なども考えて、効率よくスムーズに施工ができるようにしています。

レジン施工は時間短縮と競技得点を加算する要だと考えています。レジンは、拭き上げで95%、仕上げリチェック5%の割合で拭き残しのない状態にします。施工前にはプレスラインなどくぼんでいるところを確認し、どのようにケミカルを塗っていくかをイメージしています。

技術コンテストに出場すると確実にレベル

アップし、お客様の満足度が上がり、お店の売上アップにつながります。また自信がつくことで積極的に提案ができます。地区チャンピオンになっただけでも、HPを見て遠方から来てくださるお客様がたくさんいらっしゃいました。個人的な満足だけでは、これだけの人が出場しないし、こんなにレベルは上がらないですね。キーパーコーティングに出会って4年くらい経ちますが、楽しいし、仕事のやりがいにもなっています。この想いを下のスタッフたちに伝え、同じ会社から全日本チャンピオン戦に出場できるスタッフを増やしていきたいです。



\*総合得点が同等の場合、競技得点が高い選手が上位になります。